

収入

¥28,804,980

収入内訳

Table with 2 columns: 項目 (Item), 金額 (Amount). Rows include 年会費, 寄付金, 助成金, 委託費, 利息, 雑収入.

支出

¥25,787,497

支出内訳

Table with 2 columns: 項目 (Item), 金額 (Amount). Rows include 人件費, 委託費, 諸謝金, 印刷製本費, 旅費交通費, 通信費, 消耗品費, 水道光熱費, 車両費, 保険料, 地代家賃, 管理費.

残額

¥3,017,483

残額内訳

Table with 2 columns: 項目 (Item), 金額 (Amount). Rows include 当期繰越金, 前年度繰越金.



支え合いの輪ひろげよう 寄付のお願い

災害はいつでもどこにでも起きる可能性があります。だからこそ同じ地域に暮らす人と共に、助け合える体制を作っていく必要があります。...

振込による寄付

おもやいへの直接振込による寄付。領収書が必要な方は、メールまたはお電話にて、宛先・ご住所についてお知らせください。(税制優遇対象外)

手ぬぐい寄付

3000円以上の寄付で2枚お送りします。左記の寄付口座にお振込みいただき、お名前・送付先等、ご連絡ください。

おもやい協働基金

公益財団法人佐賀未来創造基金様を經由しての指定寄付で、この基金を活用し、被災地域で活動する団体の皆様への活動助成をしています。(税制優遇あり)

ふるさと納税

佐賀県ふるさと納税ページ(佐賀県NPO 支援指定寄附～ふるさとチョイス)より102)一般社団法人おもやいをご指定ください。返礼品はありません。...

編集後記

今回、活動報告の編集に携わって、災害発生時や、その備えに限らず、フードリンクなど日常の安心や繋がりづくりのサポートにも着手し、活動がさらに深まっていることを実感しました。...



一般社団法人 おもやい 令和3年度 活動報告書

一般社団法人おもやい 武雄市北方町大字志久1931-6 TEL&FAX 0954-33-0444 E-mail: omoyaivc@gmail.com

令和3年度をふりかえって

令和3年度、ふたたび水害を経験する年となってしまい、さまざまな難しさに直面した年でした。2年と経過しないうちに訪れた災害に、気力・体力共に大きな痛手を受けた住民の方々からは悲痛な声。...



コロナ禍で人と会うことに躊躇する空気の中で、人と会い、話をする場を求める繋がりを求めていることも活動の中で実感。人がいなければできないボランティア活動に、どうやって安心感を添えて継続できるか、今まで以上にコミュニケーションを大切にしながら活動をさせていただきました。

令和3年度 寄付者のみなさま 2021年度、おもやいの活動を支えてくださった皆さま たくさんの応援をありがとうございました

- List of donors and their names, including individuals and various organizations like churches and community groups.



1 平常時 安心への取組

○定期的訪問活動（1月～8月）

その後、8月に水害発生のため、水害対応の訪問活動へ切り替え

○イベント事業 15回

- ・防災料理教室（4回）
- ・おうちで防災フェス
- ・おもやい防災展示会ほか

○おもやい防災あんしんセット

・登録会員 **250** 世帯（**120** 世帯増↑）

○おもやいフードリンク事業

- ・配布会 **9** 回開催
- ・利用世帯のべ **291** 世帯
（4月～12月合計、平均約32世帯）

○防災勉強会・講習会 6回

○防災講演会（登壇・講師）12回 など

2021 3.13 SAT. 11:00-15:00

おうちで防災フェス

トークイベント「山と防災」
鈴木みき × 鈴木隆太



一訪問活動一

令和元年8月豪雨から、継続的な訪問活動を継続。2021年度も同様に新型コロナウイルス感染再拡大により緊急事態宣言、並びにまん延防止措置等の発令により、孤立が懸念される方々への訪問は、緊急性の高い活動でした。

これまで継続的な支援をいただいている味の素冷凍食品株式会社様よりの冷凍食品をはじめ、多くのご支援をいただきながら訪問対応を行うことができました。



一イベント・防災勉強会・講習会一

2021年度は、コロナの影響が大きく、また8月の水害発生に伴い、当初通りの開催には至らなかったイベントも多くありましたが、自主事業または、他団体との連携や、県との協働事業として開催することができました。コロナ禍での水害発生もあり、活動は非常に難航した一方で、水害後の地域サロンなどにも多くの住民さんが足を運んでいただき、人と話したり繋がりを実感する場の需要が高まっていることも痛感しました。また、こうしたイベントの開催にも運営をお手伝いいただくボランティアや食料支援をいただく企業の大きな応援によって開催することができました。

防災勉強会・講習会

- | | |
|---|-------------------------------|
| 2/10 防災料理教室 | 6/13 おもやいオンライン防災教室・DIY講座 |
| 2/20 防災料理教室 | 6/25 防災出前講座 in 高橋 |
| 3/6 防災料理教室 | 7/12 防災出前講座 in 高橋 |
| 3/13 おうちで防災フェス （江北町・みんなの公園主催イベントと連動） | 6/17 防災出前講座 in 朝日公民館 |
| 3/14 大牟田「防災まちあるき」 | 7/26 北方小・放課後児童クラブ青空教室 出前講座 |
| 3/24 防災料理教室 | 11/20 オンライン気象勉強会 in 北方公民館 |
| 5/9 おもやい防災展示会 | |
| 6/6 防災カフェ in 高橋公民館 | |
| 7/28 おもやい寺子屋 | |
| 8/4 おもやい寺子屋 | |
| 8/11 おもやい寺子屋 | |
| 9/1 おもやいカフェ | |
| 10/28 誘致CSOとの交流会 （佐賀県民協働課委託事業） | |
| 11/21 防災教室 in 橘町公民館 | |
| 12/12 クリスマス会 | |
| 12/27 おもやい研修会 （佐賀県CSO未来への一歩応援事業） | |

講演依頼

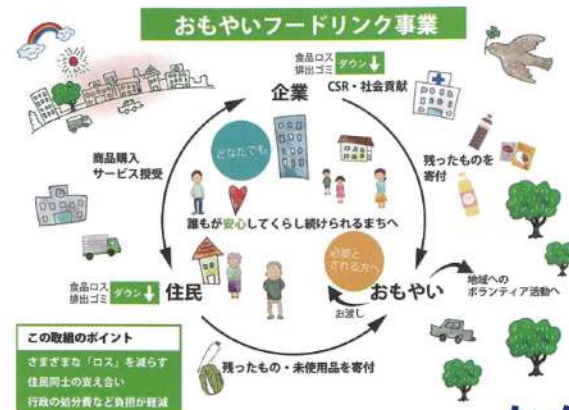
- 1/8 関西学院大学復興制度研究所フォーラム
- 1/24 大牟田・自主防災組織研修会講師
- 3/9 福岡高校 Zoom 授業講師
- 3/15 佐賀県 JC 主催
「災害対応に関するフォーラム」登壇
- 4/13 白石町健康サロン講師
- 6/14 兵庫県立大学宮本匠先生ゼミ講義
- 7/9 北方中学校総合的学習の時間講師
- 10/15 まちコミュニケーション主催オンライン講座
- 11/19 北方小学校 2年生
総合的学習の時間ガイド
- 12/4 佐賀県婦人会講話講師
- 12/15 シャンティ国際ボランティア会勉強会
- 12/27 五ヶ瀬自然学校主催公開講座講師 など

一おもやいフードリンク一

災害時の活動を継続していく中で、さまざまなご相談をいただきましたが、その中でも日常的に生活にご苦労されていらっしゃる世帯からの相談も多くあり、そこから日常的にも安心して暮らし続けられるまちを目指していくために、災害対応と並行しておもやいフードリンク事業を令和3年度より開始いたしました。

武雄市役所環境課をはじめ、さまざまな関係機関や団体からのご支援・ご協力をいただきながら、食品や生活用品をご寄付いただき、必要とされる方々に毎月1回お渡ししております。

また、コロナ感染拡大に伴い、こうしたニーズが高まっている状況でもあり、利用をいただいている世帯数も毎月増えている状況でもあります。ぜひ皆様も引き続き、食品や生活用品などのご寄付・ご協力をお願いいたします。



平常時からの
支え合いの輪が
広がっているね



一おもやい防災あんしんセット一

昨年度からスタートした会員制の防災グッズのセット「おもやい防災あんしんセット」事業では、個人や自治会単位など250世帯が会員として登録していただいています。既に会員になっていただいている方々へ、梅雨を迎える出水期の前に賞味期限のある飲料品や食料品の交換会を実施しました。特に、自治会単位で会員になっていただいている地区へは自治会の皆様と連携して各班ごとへの交換や、それ以外にご自身でもご用意いただく持ち出し品などをあらためて確認をさせていただく機会をご提供いたしました。令和3年はまたも水害が発生してしまったこともあり、ここから持ち出して避難所へ行かれた方や、2階への垂直避難をされた方からはセットの中の簡易トイレが役に立った、というお声を聞かせていただきました。

また水害発生に伴い、隣の大町町を中心に「おもやい防災安心セット」への要望が既にながっており、次年度（令和4年度）に対応する予定となっています。水害後にケーブルワン主催による少年野球のチャリティマッチが11月に開催され、その際に寄せられた支援金を次年度のあんしんセット購入費として指定寄付とすることになり、また、個人からのご寄付も財源としながら、次年度に実施する予定としています。

この備えが
8月の水害で
とても役に立ち
ました！



一他地域・他団体のサポート事業一

多世代交流拠点の整備 運営サポート（大町町）

大町町の地域おこし協力隊を中心として、大町町における多世代交流拠点「ペリドット」の運営のサポートを行うための手続きを進めてきましたが、水害発生もあり実質的なサポートまでには至りませんでした。一方で情報交換を行いながら、地域おこし協力隊からの要請に応じて側面的なサポートを実施。

防災事業のサポート （福岡県大牟田市）

シャンティ国際ボランティア会(SVA)からの委託で令和2年に水害が発生した大牟田市みなと校区での防災に関する学習会や防災まちあるきなどのサポートを行いました。

地域サロン事業のサポート （熊本県人吉市）

一般社団法人九州環境地域づくり、宮崎文化本舗(宮崎県)との連携のもと「アークレスキュー人吉球磨」のサポートの一環として、被災により、住民の減少した地域におけるサロン活動をオカベース・被災地NGO協働センターのメンバーと共に実施。

2 緊急時 水害対応

8/14 水害発生

8/18 水害対応スタート

・対応件数 **1000** 件

・活動ボランティア
のべ **2819** 人

・連携団体 **50** 団体

【おもやいの主な活動地域】

北方地区:被災世帯731軒
高橋・甘久地区:329軒
そのほか、山内・武内・橘・武雄・東川地区にて活動

(2021年12月まで)

ーボランティア活動ー

令和3年8月11日からの大雨により、水害が再び発生。

おもやいでは、民間ボランティアセンターの体制を再度構築し、活動を開始。武雄市社会福祉協議会が運営する「武雄市災害ボランティアセンター」とは活動内容の役割分担を行い、一般のボランティアの受け入れは災害ボランティアセンターが窓口となり、おもやいは災害救援系のNPO団体等の受入れ窓口として機能させ、被災された方々への対応を行いました。

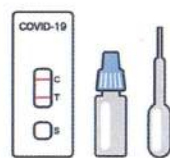
六角川流域での内水氾濫により発生した被害概要

- ・床上浸水1,183件・床下浸水579件
- ・避難所開設数:指定避難所17箇所
その他避難所29箇所
- ・住民避難:指定避難所670名、その他避難所231名
(令和4年1月5日武雄市発表)



ーコロナ禍での活動ー

コロナ禍での活動ということもあり、おもやいも賛同団体として参加している佐賀災害支援プラットフォーム(SPF)のイニシアチブでコロナ禍における水害対応のガイドラインを作成し、そのガイドラインに遵守する形での受け入れとなった。さらには、人員が混雑すると予想される毎週土曜日には、関係機関から提供されたキットを使った抗原検査を必須とし、スタッフ含め全員が実施するものとなりました。(現在も継続中)



ー多様な活動を展開ー

■ 家屋対応

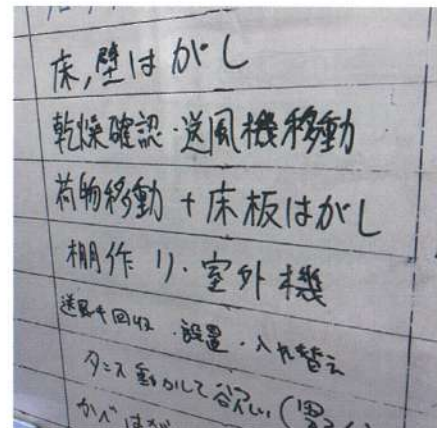
壁・床の清掃、災害ゴミの回収から、寒さ対策などの活動を展開しました。令和元年豪雨災害の際、水に浸かった場所がカビていたり、乾燥の重要性を実感。また、二度目の被災となったご家庭では「どうせ、またつかうのでは?」という思いから被災家屋の復旧をどこまでするか?を悩まれるケースも多くありました。毎年の水害発生が懸念される状況下で、地域の方々は、ここに住み続けられるかどうか?という判断に直面しました。



各地の連携団体からの助けも借りながら活動を実施しました。



家屋作業の様子



連日、多様な依頼が寄せられました



被災した家財搬入作業の様子

■ 食の支援

コロナ禍により武雄市においては炊き出しを制限されていたことを受け、市内の飲食店の有志によるお弁当の配布が実施されることとなりました。その配布のサポートを「おせっかい配食」と連携する形で行ったことは令和元年になかった、新たな取り組みとなりました。水害により1階にあるキッチンが被害を受けたことで、調理ができない家庭が多く、また疲れや心労で「つくる気がおきない」などの声が多く、食の支援はとても重要な活動でした。おせっかい配食との連携支援が終了した後も、継続の声が多く寄せられ、〇月まで実施。



手づくりのお弁当が喜ばれました。

■ 物資の提供

発災初動から、県内外より多くの物資のご提供をいただきました。おもやいの事務所を拠点として、物資の受け入れ・配布を実施。スマートサプライのシステムを活用し、リアルタイムに必要な物資を効率よく受け入れることができました。上記にもあるように、キッチンの浸水により、自炊ができないご家庭や高齢世帯も多いことから、袋から出してすぐ食べられるおかずなどが喜ばれました。他にも、洋服や靴、家電にいたるまで、復旧の進み具合に合わせた物資が、多くの方のご協力のもと、お届けすることができました。これらの物資は、地区サロン開催時にも持って行ったり、配食のお届けと一緒に持ちこずるなど、片付けで取りに来られない方々にもお届けしました。



地域の方々に取次・配布のご協力いただきました。

■ 専門家による相談窓口

被害のひどかった地域では罹災証明や応急修理制度などの説明会を実施しました。どういふもので何に必要なのか、申請の仕方など、分かりやすく解説。参加された方々はメモを取りながら、熱心に耳を傾けていました。おもやい建築士チームによる応急修理制度の説明は、各自治会でのサロンにも出張し、家屋再建について個別に対応することもありました。



全国からの応援
ありがとうございました!



小野原地区での制度の説明会



一緒に物資もお届けしました。



地区サロンでの建築士相談コーナー

■ 各自治会でのサロン

地区サロンでは、足湯マッサージ、物資の配布、建築相談、マッサージなどのほか、その時々で、ネイルケアや淹れ立てコーヒーや手づくりお菓子などのご提供があり、ホッとしたり、不安を解消する場づくりを行いました。また、サロンでの聞き取りから、家屋対応の活動に繋がることもあり、大切な役割を担っていると感じます。



お茶を飲みながら世間話〜片付けや困りごとの話まで



物資のお渡しコーナー



足湯でほっと緩んでいただきます



マッサージはいつも人気でした
心労と疲れで身体がガチガチ

子どもの遊び場

平時より、フードリンク事業で連携しているよりみちステーションの協力のもと、被災家庭の子ども達を対象に、8月下旬から「きたがたこどものあそび場」を毎週日曜日に開設しました。西九州大学OKBASEの学生や武雄高校の皆さんにも協力いただきながら、当日来た子ども達に委ねるゆるやかな計画のもと、子ども達がのびのびと、安心して遊ぶことができる場づくりを行いました。また、遊び場を活用した物資配布も行いました。

<保護者の声>

- ・たっぷり遊んで帰ると、晩ご飯を食べてコテンと眠ってしまう、ストレスを発散できて、日曜日を楽しみにしています。
- ・近所の子ども同士が久しぶりにみんな揃って遊んでる。今までだったら当たり前に家の周りで遊べたのに、今は、バラバラに避難生活をしているので、こんな風に遊べないから…(よりみちステーションFBページより引用)



太良町・嬉野市での活動



太良町での活動の様子

今回の水害で、太良町・嬉野市においても被害が発生したことを受け、SPFを中心として、嬉野市役所・嬉野市社協との連携を図りながらの被災世帯へのサポートを県内外のNPO団体等と共に行うためのコーディネイト業務にスタッフを1名派遣。SPFメンバーとして活動にあたりました。また、西九州大学OKBASEを中心に太良町への訪問を引き続き行い、その後のサポートなどを行いました。



嬉野市での活動の様子

<被災された住民の方々の声>

- ・今回はホントに心が折れる。平成2年のときは、自分も若かったからなんとかできた。前回(令和元年)は、おもやいさんに助けられて、なんとか。今度は2年たたんうちに、2回やもんね。今は人も少ないし、自分もがんばりきらん。(女性)
- ・みんな流された。どうしても、次来たときを考えてしまう。次はタンズみたいな物は買わん。プラスチック製の捨ててもいいようなもの。工務店頼みたいが、なかなか来てもらえない。今はシャワーだけ、ホントは浴槽ば浸かりたかもんね。(男性・10月地域サロンにて)
- ・配食が助かっている。何もしたくなか。おもやいのボランティアさんが今度も応援してくれるから、元気を出してポチポチやるしかない。でも、夜になって1人になるとね、気持ちが落ち込む。(女性)

- ・水害のあと、狭心症の疑いで病院に行っている。血圧のクスリを飲んでたが、低くなって薬を飲まなくなったが、力がわかない。友達にも会いたくない。友達と温泉入りにいくのが楽しみやった。今はしょうなか。役所の申請が難しい。書類に書いてあることが難しくわからない。(女性)
- ・仕事でちょっとの時間だけしかいられないが、お礼が言いたくて来た。物資や配食がとても助かっている。水害後、めまいがする。看護師さんが来ると聞いたので、ちょっと相談もしたい。(若い男性・地域サロンにて)
- ・みんな、心配してくれるがその連絡も返すのが億劫。夜に浸水してきたから、夜の物音に敏感になった。雨が降ると音が怖くて眠れない。昨日は地震のニュースがをみて、心が落ち着かなくて眠れなかった。(女性)

<連携団体> 約45団体



沢山のご協力
応援によって
活動を続けることが
できました!

令和3年度も、多くの連携団体の協力をいただきながら、実施することができました。特に、被災地NGO協働センター、NPO法人リエラ、コミサポひろしま、ADRA Japan、シャンティ国際ボランティア会、かながわ311ネットワークなど、長期にわたるスタッフの派遣によって、これらの活動の中核を支えていただきました。本当にありがとうございました。

<団体名>順不同

建築ボランティアネット
よりみちステーション
児童支援事業所ガラパゴス
Npo法人 菜菜
オカベス/okbase 様
佐賀災害支援プラットフォーム - SPF
公益財団法人 佐賀未来創造基金
認定NPO法人 日本レスキュー協会
グリーンコープ生協さが
さが*ひな市
曹洞宗佐賀県宗務所
佐賀県曹洞宗青年会

3次に備える

提案・提言・人材育成

○要望書の提出

令和元年・令和3年と立て続けに被災をされている世帯の心身的・経済的な負担の懸念から、武雄市・大町町に対して「武雄市から佐賀県・国への制度緩和による支援拡充を求める要望書」を提出。

○武雄市情報共有会議への参加

1月～7月まで計4回の情報共有会議。(防災・減災課、福祉課、健康課、企画政策課、市民協働課など、関係各課と情報共有を行った。

○大町町連携会議への参加

大町町・町内で活動する各団体・当法人との連携会議に参加。

○おもやい大学

各分野の専門家を講師にお招きし、人材育成・スキルアップを目的とした講座を水害前まで3回実施した。

さらには佐賀県へは直接SPFが主体となり、おもやいも連盟で県への提案書として提出しました。結果的にはあまり大きな効果は得ることができませんでしたが、地域の方々の声を直接聞くことが出来る私たちだからこそ、声を届けつづけたいと思いました。

○大町町連携会議への参加

昨年度より継続して、大町町役場と大町で活動をしている団体との連携会議に参加。8月の水害発生後はほとんど参加することは叶わなかったが、大町町における災害時における三者連携については既に大きく注目されることとなっています。また日本レスキュー協会が大町町に拠点を整備し(令和4年2月竣工)、具体的な拠点を置くこととなり、さらなる連携・コミュニケーションが不可欠となることもあり、SPFの賛同団体として継続して連携会議への参加を行う予定です。

○おもやい大学の開催(人材育成)

活動3年目となり、仲間が増え、裾野が広がる中、人材育成・スキルアップを目的として各分野の専門家を講師にお招きし、講座を水害前まで3回実施しました。

—行政との連携・提言—

○「制度緩和による支援拡充を求める要望書」を提出

令和元年と令和3年と立て続けて起こった水害で、二度の被災に見舞われている世帯の心身的・経済的な大きな負担の懸念から、武雄市並びに大町町に対して「武雄市から佐賀県・国への制度緩和による支援拡充を求める要望書」を8月29日に提出しました。概要は以下のとおり。

①佐賀県・国へ 迅速な対応と制度適用要件の緩和

②佐賀県へ 救助法適用外の被災世帯へ県独自の支援要請

③武雄市へ 在宅避難者へも十分な支援を



さらに佐賀県へは直接SPFが主体となり、おもやいも連盟で県への提案書として提出しました。結果的にはあまり大きな効果は得ることができませんでしたが、地域の方々の声を直接聞くことが出来る私たちだからこそ、声を届けつづけたいと思いました。

○武雄市情報共有会議への参加

1月から7月までに4回の情報共有会議に参加。主に防災・減災課、福祉課、健康課、企画政策課、市民協働課など、関係各課との情報共有を行いました。その後の水害の発生により共有会議が一時中断しましたが、11月より再開。また、情報共有会議とは別に武雄市農林課が主催する「里山資本ゼミ」への講師派遣などもあり、様々な角度

- 4/13「災害とは」
講師：兵庫県立大学・澤田 雅弘先生
- 4/20「法律とは」
講師：兵庫県弁護士会・津久井 進先生
- 4/27「ボランティアとは」
講師：被災地NGO協働センター・村井 雅清さん



一社)日本カーシェアリング協会
DEF 災害エキスパートファーム
特定非営利活動法人リエラ
被災地NGO協働センター
コミサポひろしま
NPO法人かながわ311ネットワーク
Borderless Fire Kumamoto
災害NGO結
災害ボランティア 愛・知・人
震災がつなぐ全国ネットワーク
シャンティ国際ボランティア会(SVA)
風組関東
とちぎボランティアネットワーク

国際協力NGO ADRA Japan
武雄市役所里山ゼミ
認定NPO法人レスキューストックヤード
ななうらサポートセンター
特定非営利活動法人みつわ
宅幼老所笑びす
コープ さが
フードバンクさが
佐賀大学農業サークルスプラウト
リアン
(一社)あまみら
天ヶ瀬温泉旅館組合
天ヶ瀬温泉みるきーすばサンビレッジ

香蘭社
ゆめタウン武雄
たのしい農家お百笑さん
いのりんジャパン
AAR JAPAN
居酒屋NUFNUF
おせっかい配食
家ひきの中島建設
女性が元気になれるセンター
みんなの公園
CLUB RIO
株)中山建築工業

この他にも、多数の団体からご支援・ご協力をいただきました。ありがとうございました。